

# 新国立修正計画にも疑問

二十八日に発表された新国立競技場の新しい整備計画について、二年前から旧計画に異議を唱えてきた建築家の榎文彦さんと、市民団体「神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会」共同代表で作家の森まゆみさんはどうみるのか。遠藤利明五輪担当相は「コスト抑制の観点から大幅に見直した」と説明するが、二人は「六万八千人は相当大きい」「まだ高い」などと話した。

「八万人を六万八千人に減らし、屋根は観客席の上だけにし、コストを千五百五十億円に圧縮したことは評価している」と、榎さんはほっとした様子で話した。一方で、旧計画では巨大な施設が景観に与える影響などを指摘してきたため、「景観上、本当に影響は出ないのか」との懸念も漏らす。

建築誌で旧計画に異議を唱えたのは二年前。建築界のノーベル賞と呼ばれるプリツカー賞を受賞した日本を代表する建築家だが、その主張に政府が耳を傾けるまで長い時間がかかった。

延べ床面積が旧計画の約二十二万平方メートルから約十九万平方メートルに減った点については「もっと小さくすればもっと安くできた。本当にそれだけ必要なのかは疑問が残る」と指摘。景観に合った規模なのかを判断する新計画での設計に注目する。

やはり二年前から、旧国立の解体や新国立の建設に反対してきた森さんは、遠藤五輪相が「国民の理解を得られる」と胸を張る内容に何一つ納得できず、新計

## 建築家 榎文彦さん



# 建設せず が合理的

## 作家 森まゆみさん



(森本智之、中沢誠、〇面参照)

画にも「ノー」を突き付ける。

「当初の千二百億円だって十分高すぎる金額だった。政府は『千五百二十億円から一千億円減らした』と言ったが、『千二百億円から二百五十億円増えた』と言ったのが正しい。規模も巨大であることに変わりはない」と憤る。

森さんは、古い町並みが残る東京の谷中・根津・千駄木の地域誌を編集する傍ら、旧国立の歴史に愛着を持って解体への反対運動を続け、シンポジウムの開催や、国などへの要望書の提出をしてきた。旧国立が解体された今も「本当は改修して使っべきだった」と悔しさをにじませる。

主会場を建設しない「ゼロ・オフィス」が最も合理的な方法。一千兆円超の借金がある国のやることではない」と強調。「工費が上昇傾向にあり、工期も限られる中で予定通り五輪までに完成するのか。こんな計画で強行しようというのなら五輪反対を主張して計画をひっくり返したい」と、建設反対の姿勢を貫く考えだ。

# 離れたくない… 複雑

## 「敷地」の都営アパート住民



新国立競技場の建設に伴い、取り壊しが予定される都営霞ヶ丘アパート＝東京都新宿区で

新国立競技場の整備工費の財源負担をめぐる、東京都の外添要一知事は二十八日の定例記者会見で、「都民の安全・安心のための施設が（スタジアム本体に）入っているならば、その施設について一部負担する考えは十分成り立つ」と語り、防災機能に着目して本体工費の一部を都が支出する可能性に言及した。

## 工費の一部を負担 都知事「あり得る」

外添知事は工費負担に関する質問に対して「都施設と競技場を結ぶ通路整備を挙げて『法的に許されているのは周辺整備の約五十億円』との考えをあらためて説明。ただ、帰宅困難者対策など防災の観点から、主として都民が自分たちの身を守るために使うなら、都民が納得して一部負担しないう、ということになりうる」とも語った。

新国立競技場の整備計画が決まった二十八日、建設計画の範囲となっているため移転を求められている都営霞ヶ丘アパート（東京都新宿区）の住民は「移転はもう決まったこと」「本当は離れたくない」と、複雑な心境をのぞかせた。「金額を下げるのは当たり前。税金の無駄遣いも甚だしい」。アパートの一角で雑貨店を営む男性（五十）は、店の前を掃きながら整備計画の感想を口にした。近くの生家で商売していたが、一九六四年の東京五輪のために立ち退き、翌六五年にアパート内に移転し

た。「国家行事だから協力しなければならぬ。でも、本当のことを言えば、ここを動かせたくない」と苦しい胸の内を明かす。都によると、十棟三百戸の霞ヶ丘アパートは六六年までに完成。二〇二二年七月、新国立競技場建設の計画範囲に含まれるとして、都が住民の移転を決めた時には約二百三十世帯が入居していた。既に移転した世帯もあり、現在は約百二十五世帯が暮らす。立ち話をしていた七十代の女性二人は「みんなそれぞれ思いがある。でも、大家の都が出てくれと言うならしょうがない」「最初から『決まった』という形で聞かされた。何か言ってももう変わらないでしょ」と話す。二十年前から暮らす菊池浩一さん（八二）は「通院している病院も友人もみんな近く。一棟でも二棟でも残すなり、もう一度、考えてほしい」と話す。都は来年一月までの転居を求め、その後、アパートは取り壊す。事業主体の日本スポーツ振興センターも計画範囲にあるが、新国立競技場の近くに建物を新設して入居する予定だ。

(北爪三記)

オスプ